

## 仕様書

1、件名：SS-MIXストレージビューア導入業務委託契約

2、SS-MIXストレージビューア技術要件

項番	技術要件
1機能全般	
	1-1ブラウザを使用するオフラインのWebのシステムであること。
	1-2患者選択機能として、患者IDの直接入力による患者指定ができること。
	1-2-1病院側がID、カナ氏・名、漢字氏・名、生年月日等のCSVデータを提供することにより、ID以外のこれらの項目でも検索が可能なこと
	1-3参照機能において、データとして標準化ストレージに格納されていれば、以下の種別のデータ参照ができること。 ([ ] 内はSS-MIX2仕様における対応するデータ種別コード)
	1-3-1患者基本情報(身長、体重、血液型を含む) [ADT-00]
	1-3-2アレルギー情報 [ADT-61]
	1-3-3移動(入院歴)情報[ADT-22,ADT-52]
	1-3-4処方情報(オーダ)[OMP-01]
	1-3-5注射情報(オーダ) [OMP-02,OMP-12]
	1-3-6検体検査情報(結果) [OML-11]
2標準化ストレージ参照機能	
	2-1提供される参照機能は、以下の機能を有すること。
	2-1-1患者基本情報詳細として、下記の項目を表示すること。 ・患者氏名(カナ氏名)、性別、生年月日 ・郵便番号、住所、連絡先 ・身体情報(身長、体重、血液型)
	2-1-2病名情報として、下記の項目を表示すること。 ・診療科、主病区分、診断病名、開始日、終了日、診断区分、転帰、機密
	2-1-3アレルギー情報として、下記の項目を表示すること。 ・区分、説明、症状、重症度、発生時期、確認日
	2-1-4処方歴として、下記の項目の表示ができること。 ・処方日、医薬品名、処方量、処方日数、用法、これらに付帯する指示コメント情報
	2-1-5検体検査結果として、下記の項目が時系列で表示できること。 ・検査日、検査項目名と検査結果、基準値範囲及びそれによる判定符号(H,L など)
	2-1-6日別診療記録表示として、日付を選択することで標準化ストレージの内容を参照できること。 データが格納されている日付を時系列で表示し、日付をクリックすることで処方、注射、検体検査結果が参照できること。
3拡張ストレージ参照機能	
	3-1提供される参照機能は、以下の機能を有すること。
	3-1-1拡張拡張ストレージにXMLファイルの形式で格納されているカルテ記事の内容として、下記の項目を表示すること。 ・患者ヘッダー情報 ・SOAP情報
4動作環境 以下のスタンドアロンのパソコンで動作可能なこと	
	4-1OS Windows7以降のWindows 64bit版にも対応すること
	4-2ブラウザ IE10以降
	4-3電源供給が可能なUSB(2.0以上)ポートを備えること

3、SS-MIXストレージビューア用ハードウェア要件(ポータブルHDD方式)

項番	仕様	数量
1 SS-MIXストレージビューア作成用PC		3台
	1-1 ノート型パソコン(15.6インチワイドフルHD以上)	
	1-2 CPU: IntelCorei5-4310M(2.70GHz) 同等以上	
	1-3 メモリ: 4GB以上	
	1-4 ハードディスク: 320GB以上	
	1-5 内蔵DVD-ROMドライブユニット	
	1-6 USB(2.0以上) 4ポート以上(USB3.0のポートが望ましい)	
	1-7 大容量バッテリーバック(72W/h)	
	1-8 5年間バック保守(平日営業時間帯/当日訪問修理)	
	1-9 OS Windows 8.1pro(64bit)	
	1-10 マウス添付(USB接続/光学式orレーザー式)	
	1-11 リカバリーデータディスク、ドライバーディスク(PC3台で1枚)	
2 SS-MIXストレージビューア用ポータブルハードディスク		12台
	2-1 USB3.0接続方式	
	2-2 ハードディスク容量: 1TB	
	2-3 ハードウェア暗号化機能付き	